

ハワイ大学マノア校でのSGHフィールドワークプログラムの記録

はじめに

英語科 K.M (SGH 委員長)

昨年度に続き2回目のハワイ研修を終えました。昨年度の反省点、たとえそれが小さなものであってもすべて解消しようと企画をしました。昨年、ホノルル到着直後の昼食の浜辺で食べたサンドウィッチは不評でした。ワイキキのレストランでのロコモコに変えました。みんながおいしいと言ってくれました。天候に恵まれダイヤモンドヘッドに登り、果てしなく広がる太平洋を見ることができました。美しいと生徒たちは言ってくれました。無理を承知で多忙な T 名誉教授に講演を依頼しました。講演後生徒たちは講演者に群がって質問をしていました。夏休みにもかかわらず、プナホウ学園の生徒たちが私たちに会いに来てくれました。楽しかったと生徒たちは言ってくれました。日本語学科の先生方のご尽力には感謝してもしきれません。担当していただいたハワイ大学の3名の先生方は、授業でも、ダウンタウンでの歴史ツアーでも、生徒に優しく接してくださいました。

帰国前夜、船から見た水平線に沈みゆく夕日とその夕日に映える生徒たちの笑顔は、言葉にできないほど美しく、今も心に深く刻まれています。

現在、この研修に参加した生徒たちは、英語は自らの気持ちを伝える言葉だと実感し勉学に励んでいます。その姿を見るたびに大きな充足感に包まれます。

英語科 S.A

7月27日(日)から8月3日(日)まで、本年度よりSGHプログラムとして実施された「ハワイ大学フィールドワークプログラム」に引率教員として参加した。ハワイ大学では14人1クラスでそれぞれネイティブの教授が1週間授業を担当し、ディスカッションを中心に、ハワイ文化を学ぶダウンタウンツアー、大学生1名に生徒2名で会話をするインターチェンジ等内容の濃いプログラムだった。中でもハワイ大学名誉教授 T 先生による「日本人のハワイ移民」に関する講義は、1800年代終わりに日本からハワイに移住した1世たちの暮らしぶり・2世、3世の自分たちのアイデンティティに対する葛藤など、大変興味のある内容で、生徒たちにわかりやすい英語で講義された。2時間を超える講義であったが、終了後、先生に質問をする生徒の列ができるほど素晴らしいものであった。修了式では生徒1人ずつに終了証書が渡され、各クラス生徒代表のスピーチで締めくくった。1週間という短い期間のプログラムであったが、密度濃い充実したものであったと思う。

SGH フィールドワークに参加して (参加生感想文)

2年1組4番 E.K

日本を発つ前、私はハワイで一週間もちゃんとやっていけるか不安でした。日本の人とも話すのが苦手なのに外国の人ならなおさらだと思っていたからです。でも、それは杞憂

に終わりました、という程ではありませんが、そんな心配も吹っ飛ばすほどこの研修で過ごした一週間は内容の濃いものでした。

ハワイに降り立ってまず驚いたのが、日本語の多さです。空港ではもちろん、街の中にも看板やレストランのメニューなどいたるところに日本語があふれていました。ホテルの売店などに行っても、こちらが日本人だとわかると日本語でしゃべりかけてくれました。ときどきここが海外であることを忘れてしまいそうでした。

しかし、ハワイ大学ではそうもいきませんでした。大学では授業はもちろん、寮の受付も英語で話さなければなりませんでした。私は寮にきた初日にカードキーを部屋においたままドアを閉めてしまって、受付までマスターキーを取りに行ったのですが、上手くマスターキーがほしいということを伝えられず、すごく恥ずかしかったです。ハワイ大学の学生との Interchange でも自分の伝えたいことや質問がうまく伝わらず、すごくもどかしく感じました。しかし、その分伝わったときはすごく嬉しかったし、もっと英語をしゃべりたいという意欲もわいてきました。私は人見知りだけど、あのときは本当に英語をしゃべるのが楽しかったです。たとえ、片言でも恥ずかしがらずに、もっとクラスの担任の Carole 先生やハワイ大学の学生と積極的に会話すればよかったと今では少し後悔するほど、この研修で英語を話すのが好きになりました。また、五日間の授業で、はじめは聞き取るのが精一杯だった英語が最終日には少し余裕をもって聞けるようになった気がして、ちょっと成長できたかな、と感ずることができました。

その他にもこの研修では hula を踊ったり、BISHOP MUSEUM の見学や DOWNTOWN でのフィールドワークでハワイについて知ることができて、英語を話すこと以外にもたくさんの貴重な経験をすることができました。本当に素敵な七日間でした。今回が初めての海外で自分には無理だと思っていましたがまたチャレンジしたいです。また、こんな一生の思い出に残る体験をさせてくれた両親やすべての人に感謝したいです。本当にありがとうございました！

2年1組6番 O.R

私は、7月27日から8月3日までハワイ研修に参加しました。1年の時からずっと行きたいなと思っていましたが、いざ行くことが決まると不安がいっぱいでした。どんな授業をうけるのか、話せるのか、など行くのが嫌になるほどでした。それでも、ハワイでの研修は私にとってとてもいいものとなりました。

1日目は、観光が主で次の日のハワイ大学での授業のために準備をするだけでした。2日目は、ハワイ大学に行き最初は簡単な自己紹介や先生の紹介で始まりました。私はクラス A で担任の先生はキャロルでした。キャロルの英語はとても聞き取りやすく、説明なども理解することができました。また、2日目からはハワイ大学の寮で過ごしました。寮内で起きた問題は自分たちで解決しなければならず、緊張しましたが、寮で起きた問題も無事自分たちで解決することができました。寮生活での楽しみは、朝と夜の寮内での食堂で食事をするので、たくさんの種類の食べ物がありとてもおいしかったです。お昼は大学内のお店で食事をする事が多く、スムージーのお店やスターバックスなどに行きました。量が多く驚かされました。ハワイ大学では、グループで会話をしたり、フラの歴史を

学び踊りの練習をしたり、楽しみながらもだんだんと、英語の質問を自ら進んでするようになったり、聞き取れるようになりました。私がハワイ大学研修で一番心に残っていることは、インターチェンジの方との交流です。初めは緊張していて、まったく話すことができませんでしたが、日本の話や将来の話などをしたりして、徐々に会話ができるようになりました。インターチェンジの方はとても日本に興味があり、私の知らないアニメなどをよく知っていました。もし、日本に彼らが来たときは私が案内できるようになりたいと思いました。

短い期間でしたが、得るものは多くとても楽しめました。また機会があれば、ハワイにも行きたいし、違う国にも行きたいと思いました。

2年1組37番 Y.M

合格発表の日、ハワイへの語学研修があると聞いて、短期留学をしたいと思っていた私はそのときから参加することを決めていました。はじめは希望者が多く選考で落ちたらどうしようと不安でしたが無事行けることが決まって安心しました。

出発の日、自分だけ英語が理解できなかったらという不安な気持ちと同学年の人達と海外に行くという楽しい気持ちでいっぱいでした。

到着した日は「この一木なんの木」のCMで有名な木を見に行ったりと観光で、次の日からハワイ大学での研修が始まりました。私たちグループCの先生Marlaは簡単な単語を使ってゆっくり話してくれたので私でも聞きとって理解することができました。出発時の不安はほとんどなくなっていました。初日の授業の内容は背の順や誕生日順に並んだり自己紹介をしたりとほとんどが遊びのようでした。しかしそこで気付いたことは、日本語だったら簡単な会話が英語だったらとっさにでてこないということです。普段から英語は勉強していますが日常会話をすることは難しいということに改めて感じました。その後の授業では自分たちで決めたテーマを小グループでdiscussionするなどレベルは上がり、英語がわからない単語がでてきたときはMarlaが手助けしてくれたり、グループで相談したりと英語で話そうと努力できるようになりました。4日目のDr.Tの移民の講義もすべて英語だったのですが、先生もゆっくり、理解できる言葉を使って話して下さいました。5日目のグループでの校外学習の日、私は集合時間に遅刻してしまい学校のみならず大学の先生たちにも迷惑をかけてしまい本当に申し訳なかったです。その日はMarlaとともにダウンタウンの歴史ツアーをしてピザを食べ、いっぱい写真をとってみんなと楽しみました。

卒業式ではMarlaに首飾りをかけてもらい、グループのみんなで大きなのっぽの古時計を英語で歌いました。Marlaは「またハワイに来た時会いましょう」と言ってくれ、ハワイを離れるのが寂しくなりました。

このプログラムに参加する人のほとんどが知らない人だったということも私にとっては不安なことでした。しかし、授業を受けグループ行動をすることで仲良くなることができ友達も増えました。ダイヤモンドヘッドのハイキングやワイキキ散策、ディナークルーズなどがとても楽しかったのは一緒にいてくれた友達のおかげです。この夏休みは一生忘れられない思い出になりました。ハワイ研修で、私は自分の言葉を英語にして伝えようとするものの大切さに気づき、ほぼ初対面の人とも仲良くなる術を身につけることができ、人と

しての成長も少しできた気がします。

最後になりましたが、このようなすばらしい機会をくださった北野高校と先生方、快く了承してくれた両親に感謝しています。ありがとうございました。

2年2組 24番 N.T

ハワイ研修を終えてから1カ月が経った今でも、ハワイでのことは何もかも覚えています。また1カ月しか経っていないのにとっても懐かしく感じます。それだけハワイでの8日間は充実していました。

僕にとって最も衝撃的だったのは、アクセントの位置が曖昧であったり違っていたりしただけで全く通じなかったことです。ハワイ大学での研修で、同じクラスの人と二人一組のペアを組んで相手のことを、クラスのほかのメンバーに紹介するという課題がありました。僕の相手の人はハムスターを飼っていたので、そのことを英語で言うと担任の Robert 先生に What does he have? と聞かれました。僕はアクセントのことを意識せずに「ハムスター」と何度も答えたのですが、全く通じませんでした。日本語においては棒読みであったり、大阪弁のようにアクセントの位置が違っていたりしても通じるのですが、それに対して英語は繊細な言語だと感じました。このハムスター事件をうけて僕は日本語と英語の違いについて考え、英語を外国で使いこなすことがどれほど大変でどのような問題があるのか少し分かった気がします。

このように英語について考えさせられることが多々ありましたが、ハワイでは楽しいことだらけでした。ホテルのプールで遊んだり、ダイヤモンドヘッドに登り、駆け下りてみたり、と楽しい思い出は数えきれません。ワイキキでの自由時間では、事前に何も調べていなかったのがハワイらしいことはできませんでしたが、広い公園を通り抜けたりショッピングセンターで一休みしたりとまるでハワイに住んでいるかのようにゆったりとした時間の流れを満喫しました。最終日のディナークルーズでは、船全体で一つになって盛り上がり、最高の締めくくりをすることができました。

このハワイ研修は、海外渡航が初めての僕には最高の経験となりました。この機会を与えてくださった全ての方々に心から感謝しています。

2年2組 27番 H.Y

関空を立って8時間、初めての海外は私の目にはキラキラ輝いて見えました(時差ボケで頭はくらくらしていましたが)。しかしまだその時は研修を終えて自分がこんなに変わるなんて思ってもみませんでした。

ハワイに到着して2、3日のころ、私は目に入る風景、人々、全てが見慣れないものだったせいですごく不安になってしまい、いつも友達の方を振り返っては「どうしよう?」と視線を投げかけてばかりでした。一度目のインターチェンジもペアに頼りきりで全く会話にならず、悔しさと申し訳なさで胸がいっぱいでした。

こんなふうに初めての海外はほろ苦い物になるかと思われましたが、二日、三日と英語漬けで過ごしていくうちに、意識が変わっていきました。

たくさんの刺激的な体験をしましたが、特に自分を変えてくれたのはホテルのカードキーが壊れてしまったことでした。ルームメイトは入浴中だったのでたった一人でホテルのフロントに行って、もちろん英語でキーが壊れた旨を説明し、何らかの理由で内側から鍵がかかったのではないかということでセキュリティの人を呼んでもらいました。しかしセキュリティの人が来る前にキーが直ったようでそれをまた説明し…。と、とにかくでんでこ舞いでした。きっと私自身まともな英語を喋ってはいなかったと思いますが、周りの人が理解しようとしてくれたおかげで、完璧な英語じゃなくてもとにかく怖がらないで使ってみることが大事なんだと思いました。また、英語でコミュニケーションをとる楽しさを知って、もっと英語を学びたいと思えるようになりました。

最後になりますが、こんな素晴らしい研修に参加させてくれた家族、またこの研修に携わってくださった全ての方に感謝の気持ちでいっぱいです。この経験をこれからの人生に活かしていきたいです！

2年3組9番 O.Y

僕にとって、ハワイ研修は新しいことの連続でした。ハワイどころか海外にすら行ったことがなく、飛行機にすら乗ったことのなかった僕は、日本を出る前から不安でいっぱいでした。でも、飛行機が無事にホノルル空港に着いたときには、そんな不安は、これからのハワイでの生活を楽しもうという気持ちに変わっていました。

1 日目はいろいろな観光スポットを回りましたが、日本語が多くて案外拍子抜けしたのを覚えています。また、食べ物も、米など日本の食事に似ているところも多く、驚いたことも覚えています。

2 日目以降、ハワイ大学での研修が始まってからは、さすがに英語で話す機会が多かったです。特に、ハワイ大学の学生とのインターチェンジでは、英語での会話の難しさと、自分の拙い英語が通じたことの喜びが、とても印象的でした。

また、僕たちは昨年先輩方が登れなかったダイヤモンドヘッドにも登りました。待ち合わせ場所がわからずに、バスにおいていかれそうになりましたが、何とか乗せてもらい、無事に行けました。なぜ40人しかいなかったのに、点呼のときに42人いたとされたのが、今でもとても不思議です。でも、ダイヤモンドヘッドの頂上からの景色は、何とも言えないほど、美しかったです。

ハワイ大学での研修に話を戻すと、大学の先生方はとても簡単な英語を使ってくれた、というのも記憶に残っています。T先生の移民の講義も、シンプルな英単語が多くてわかりやすく、内容もとてもおもしろかったです。

帰国前日の卒業式では、僕はクラスCのスピーチを2人で担当しました。終わってから、クラスCの担任だったMarla先生やK先生に、「いいスピーチだった。」とほめてもらいましたが、壇上ではとても緊張して膝が揺れていたのを今でも覚えています。その後のディナークルーズも、スピーチの緊張から解放されて、大いに楽しみました。いろいろなことがあり、いろいろな経験を積んだハワイ研修は、これからの僕の人生において大きくプラスに働くような気がします。

2年3組12番 K.R

このハワイ研修が私にとって、初の海外への渡航。長時間のフライトはとても辛く思い、また私の English スピーキング力は友人たちに及ばず、出発する前は不安でしかたありませんでした。

初授業の時、私たちはあまり積極的に英語を話すことが出来ずにいて、担当の Marla 先生に "Don't be shy!!" と何度も言われました。私にとって、それは恥ずかしくて何も言わないのではなく、咄嗟に頭の中で [日本語→英語] という変換が出来なかったのです。最初の授業は残念な結果に終わってしまいました。

翌日、私の不安の感情は消えることとなりました。初日は、英語という日頃使わないものを話そうとしたから失敗したのでしょうか。何事にも「慣れ」が必要なのです。この日の授業では、自分の思考を英語で伝えることが出来て、「英語って楽しい！」と思えました。それから私のハワイでの時間は実に素晴らしいものとなり、何事もポジティブにとらえることが出来ました。何度も発言できたし、最初つらかった授業も楽しくなりました。しかしその中で、相手の言うことがうまく聞き取れなくて、会話にならないことも多々ありました。その時、私はいつも自分をなさげなく思いました。今もあの場面を思い出し、嘆くときもあります。楽しいことが出来ないのは、最高にむず痒い気持ちになります。

私はこの研修を通して、英語とは「受験に必要な教科の一つ」から「世界中の人とコミュニケーションをとるための手段」という考えに変わりました。ハワイののびのびとした生活、広々とした空間を見て、私は「井の中の蛙」であることを実感しました。日本にいただけでは感じる事の出来ない、新しい価値観を手に入れることが出来ました。みんなにとって、大変貴重で有意義な時間だったと思います。将来、流暢な英語を話せるようになって、またハワイに行きたいです。

2年3組17番 K.R

「私の英語が海外で通用するか試してみたい」

これが、私のハワイスタディツアー参加の動機です。初めはそんな強気でいたのですが、ハワイへ出発する日が近づくごとに、

「こんなつたない英語で本当にコミュニケーションがとれるのか」

「1週間ほとんど英語を話さないまま終わってしまったらどうしよう」

など、たくさんの不安が押し寄せてきました。

そうして迎えたハワイツアー初日。私達は日立の木やヌアヌパリを見学した後、ホテルへ向かい、自由時間となりました。私は友人とアラモアナショッピングセンターへ向きました。そこで、とても美味しそうなクッキーやブラウニーが並ぶお店を見つけました。しかし、値段がどこにも書かれておらず、どうやって買うのかもわかりません。私達は散々悩んだ末、勇気を出して英語で店員さんに尋ねた結果、無事に購入することができました。このとき気付いたことは、「伝えようとする意思があれば、相手もそれを汲み取ってくれる」ということです。臆病にならずに、身振り手振りを混じえて、相手と通じ合うために一生懸命になること。これが、世界のどこへ行ってもコミュニケーションを取る上で

大切なことなのだと思います。そして、この行動が、私の英語に対する壁を壊しました。それ以降、英語で会話をすることや現地の方に話しかけることに抵抗がなくなり、interchange の授業でも積極的に会話することができました。

英語は、勉強科目の一つに過ぎない。今回のハワイツアーはそんな考えを打ち壊してくれました。英語は、世界の人々と意思を伝え合うための大切な手段だと改めて気付いたのです。意識を変える機会を与えてくれたこのハワイツアーに、本当に参加して良かったです！

2年3組20番 T.Y

「百聞は一見に如かず」、ハワイ留学で僕は初めて海外の地へ足を踏み入れることはまさにこういうことだと実感しました。

去年、先輩達のハワイ留学の話聞いた時は、こういうのに行く人は向上心の塊のような人なんだろうな、と流して興味を持ちませんでした。2年生になってから文法を習うことがなくなり自分の英語が伸びている実感を持てなくなりました。そのうちついに、何故自分は英語を勉強しているんだろう、という根本的な問いまで持つようになり、試験もやっつけ仕事になってしまいました。そんな時に留学の募集が来たのです。実際に海外へ行けば、英語の向き合い方で「何か」が変わるのではないかと思い、志望しました。志望者全員が行けるようにしてもらえたのは本当に感謝すべきことでした。

そして、ハワイに行きました。気候や食べ物、さらに木の種類や数などハワイは日本との差異が多くあり、たくさんの刺激を受けました。授業では、先生の Robert が本当に優しいひとでした。説明がとても分かり易く、無理なく言っていることを理解できました。Robert が僕たち一人一人に英語のニックネームを与えてくれたり、英語と日本語のアクセントの違いを学んだり、終始温かく、本当に楽しい授業でした。

ハワイの学生と対話する Interchange は2回ありました。1回目の時、僕は相手の言っていることが全然理解できず、うまく話せなくて自分の無力さを思い知り、本当に悔しい思いをしました。しかし、2回目は分からない時は相手に止まってもらい、一つ一つ丁寧に相手の言いたいことを受け取っていった結果、お互いに伝えたいことをしっかり理解することができ、とても充実した時間を過ごすことができました。

ハワイ留学は、現在の自分の座標地点を知り、これからどのような目的で英語を学ぶのかを改めて捉え直すのに必要不可欠な機会でした。また、もっと海外へ行って、他の国の人たちと交流してみたいと思いました。

2年3組26番 H.H

1週間のハワイ大学への研修旅行は、僕にとってとても良い経験になりました。僕は英語の成績は他教科と比べても断然低く、海外旅行もしたこともありませんでした。しかし、この機会に海外に行って英語を身に付けたいと思ってこのツアーに参加することにしました。参加する前は自分の英語が通じるかなという不安と授業の内容を理解できるかなという心配でいっぱいでした。

そして迎えたハワイ大学での授業、僕のクラスを担当して下さった Robert 先生はなるべく優しい英語を使ってくださり、ダウンタウン散策中もたくさん話しかけてくださったり、とても気を使ってくださったので僕でもなんとかやっていました。移民についての講義して下さった Dr.T もそうでしたが、本当に教えるのが上手な先生は難しい単語を分かりやすい英語に言い換えてくださる先生なのかなと思いました。僕が一番心配していた Interchange (50 分間ハワイ大学の学生の方 1 名と北野生 2 名で話をするというというもの) の日、僕は全く話せずに時間が過ぎてしまわないか心配で仕方ありませんでした。1 日目の Paul は英語を上手に話せなくてもいいからどんどん話そうと言ってくれたし、自分が言っていることが理解できているかどうか何度も確認しながら話をしてくれました。2 回目の女性の方はとても陽気で楽しく話せました。この 50 分×2 回の Interchange の間、英語でコミュニケーションをとれたことは僕にとって大きな自信になりました。

今回のツアーでは大学での授業だけでなく、観光もたくさんできてとても楽しかったです。ワイキキでショッピングをしたり、ダイヤモンドヘッドに登ったり、ナイトクルーズで花火を見たりハワイの様々な観光スポットに行けてよかったです。食べ物も、パンケーキやロコモコなど様々なものを食べることができたのですが、とにかく量が多い！僕はよく食べる方なのですが、揚げ物や甘いもの、炭酸飲料ばかりで普通に食べただけでもうおなかいっぱいになりました。もちろん太りました(笑)

今回のツアーは英会話の力も身に付き、観光もできてとても充実した 1 週間になったと思います。家族旅行では体験できないようなこともできて短い期間ではありましたが、異文化に触れることができよかったです。

2 年 3 組 28 番 F.N

私がこの研修に参加しようと思ったのは、英語を話すのをいつも躊躇してしまう自分の殻を破りたいな と思ったからです。しかし、海外旅行が初めてであることや、部活を 1 週間も抜けてしまうことありためらいもありました。

しかし、思い切って参加したことで、意味しか感じることをできないものを感じることができて、本当に充実した夏休みになったとおもいます。なかでも一番印象に残っているのは、ハワイ大学での授業のひとつの「インターチェンジ」です。ハワイ大学の学生 1 人と私たち 2 人で会話するというものです。こちらから質問したり、また向こうが質問してくれたりといろいろな会話をしていきます。この体験では生きた会話力が養われるなと思いました。こういったことは、普段の机に向かう学校の勉強ではなかなかできないので本当に楽しかったし、またもっとスムーズに話せるようになりたいと思ったり、自分の気持ちを伝えられるようになりたいとも思われました。また、ハワイの大学生と話すことによって、ハワイの文化が分かったり、学生の生活がどんなものであるかが分かったり、日本の文化がたくさんハワイに浸透していることが分かったりすることも面白かったです。

ハワイでの 1 週間はどの体験も新鮮で、毎日大学で勉強させてもらいながらハワイを観光したり自由にショッピングしたりと、勉強と遊びとを程よくすることができて飽きることのない 1 週間でした。おかげで、ホームシックになるかなと思いましたが、むしろ日本に帰りたくないと思えました。来年や再来年、参加しようかなと少しでも思った人は

是非参加してください。英語のモチベーションをあげる貴重な経験となるとともに、ほかの体験することのできない充実した『高校2年の夏』が待っていると思います。

2年3組30番 H.S

今回のスタディツアーは僕にとって初めての海外研修で不安もありましたが、ハワイの文化や習慣など多くのことを学ぶことができ、とても貴重な経験になりました。

1日目は、ロコモコを食べたり、いろいろなところを観光したりして、大学の授業は2日目からでした。僕は、ペラペラしゃべれるほど英語が得意ではないので、授業についていけるのかなととても不安に思っていました。ですが授業が始まると僕たちのクラスの担当だったロバート先生はゆっくりと分かりやすい単語を使い、話してくださったので、ある程度内容を理解することができ、とても安心しました。

大学で一番印象に残っているのは"Interchange"(現地の大学生1人、北野生2人で会話をする)というものです。話すことが日本語で浮かんでくるのに、なかなか英語になおすことができず、とても苦労しました。

驚いたのはアメリカの食文化でした。日本と違い、とにかく料理の量が多くてびっくりしました。どこにでもポテトやハンバーガーはありました。でもポテト好きの僕にとっては、常にポテトを食べることができたのはとても幸せでした。

この研修で一番の思い出は、6日目のディナークルーズです。船の上で夕食をとったあと、デッキに上り、夕日やダイヤモンドヘッドを背景にみんなで写真を撮ったり、ワイキキのビーチから打ち上げられた花火を見たりして楽しみました。最後の方はすごい盛り上がり、ほかのお客さんとノリノリになって一緒に踊っていました。

最終日、空港に向かうとき、もう少しハワイにいたいと思いました。ハワイで過ごした一週間は、本当に楽しくあっという間でした。初めての海外で不安しかなかったけれど予想以上に楽しく、日本に帰るのが嫌でした。最初は参加するかかなり迷いましたが、今では参加して本当によかったと思っています。

2年3組32番 M.K

「楽しい時間は早く過ぎていく。」このようなことを口にする人が多くいます。僕にとって、ハワイで過ごした1週間はまさにそのような時間でした。ハワイで過ごした時間はとても充実していて、僕に多くのことを教えてくれました。

7月27日、僕たちは大きな期待と小さな不安を胸に日本を出発しました。そしてハワイに到着し、1日目はロコモコランチを食べたりしました。ロコモコランチはとてもおいしかったです。2日目からは、いよいよハワイ大学での研修がはじまりました。僕のクラスの担当はロバート先生という先生でした。授業ではまず、生徒一人一人に英語の名前を付けてもらいました。僕の英語の名前は「Conner」です。僕はその名前をとて気に入っています。今回の研修で最も記憶に残っているのは、インターチェンジです。インターチェンジとは北野の生徒2人とハワイ大学の学生1人で会話をするというプログラムです。僕は外国人と会話をした経験があまりありませんでした。しかし、思い切って話して見よ

うと思って話すと、8割くらいは相手に分かってもらうことができました。また、相手の学生さんが僕たちにわかりやすくゆっくりと話してくれたので、言っていることはある程度理解できました。僕はその時、自分の語彙力低さを改めて実感しました。インターチェンジは2回ありました。その2回のうちやはり1回目よりも2回目のほうが自信を持って話すことができました。

ハワイで僕たちがしたことは、勉強だけではありません。ダイヤモンドヘッドの登山、ワイキキでの観光、ディナークルーズなど、多くの楽しい経験もしました。ダイヤモンドヘッドの登山は、思っていたよりも大変で、ハワイで体がなまっていた僕にとって、いい運動になりました。ワイキキでの観光では、お土産を買ったりしました。ディナークルーズは、まさにハワイ、というくらいみんなテンションが高くてハワイの雰囲気を肌で感じることができました。ショーもとても面白く、最後に見た花火はとてもきれいでした。最終日は午前中に観光して昼過ぎには空港に到着し、日本への帰路につきました。

このようにしてハワイ研修はあっという間に終わりを迎えました。決して長い期間ではなかったものの、自分の英語力を確かめ、使える英語を習得するにはとてもよい機会であったと思います。これから海外に行くときにはもっとコミュニケーションをとれるよう、英語力を向上させたいと思いました。そして、今回の研修に関わったすべての方々、本当にありがとうございました。

2年4組1番 A.S

このハワイでの海外研修は、日本では経験できないとても貴重なものになりました。勉強だけでなく、観光も充実していて、ダイヤモンドヘッドに行ったり、ダウンタウンでフィールドワークをしたりしました。中でも、ディナークルーズは、本当に楽しかったです。船からみる夕焼けや海の景色はとても美しく感動しました。他にも書ききれないほどたくさん有名な場所を訪れました。なので、ハワイで本気で英語を勉強したかった人たちにとっては、この研修は物足りなかったかもしれません。まあ、そんな人は少なかったとは思いますが。

この研修で一番ためになったと思うのは、ハワイ大学の生徒との交流です。私たちは、ハワイ大学の生徒一人と、北野二人で、50分間も話す機会をもらいました。しかも二日も！！私はこの内容を知ったとき、正直、50分間も英語を話しきる自信もなかったし、もし、会話が止まったら、どうしたらよいのかわかりませんでした。交流が始まるまで、ずっと、その不安を抱えていました。一日目は、Alysa という人でした。一応、会話は止まることなく、心配していたことは何もありませんでしたが、たまに、全然通じないことがあって、あまり楽しくなかったです。二日目は、Cody という人で、これは本当に楽しかったです。もちろん、ずっと会話は続いたし、ほとんど通じたと思っています。何といても英語を話すことが本当に楽しいと思えたのが本当によかったです。あと一つ気づいたのが、自分は大阪や日本について何も知らないということです。Codyに、「大阪に行ったらどこを訪れたらいいですか。」と聞かれたとき、とっさに思いつかず、全然知らないけど、有名なので、「通天閣」と答えた。外人と話すときは、日本人らしく、ちゃんと日本のことを知っておき、説明できるようになるべきだと思った。この交流は、本当にため

になったと思う。

他にも、オバマ大統領の出身校であるプナホウ高校を訪れたり、ハワイ大学の名誉教授の話を聞いたり、一生忘れない思い出がたくさんできました。この研修に参加して本当に良かったです。

2年4組2番 I.A

私は SGH のハワイ研修に参加しました。一年で研修のことを聞いたときからずっと行きたいと思っていましたがその反面、自分の話す英語が通じるのか、そもそも、いざハワイに行ったときに自分は英語を話せるのかとても不安でずっと決めかねていました。ですが、説明会を聞いてみるとやはり楽しそうでこれが英語を勉強するきっかけにもなるかもしれないと思い参加を決めました。

ハワイでは現地の人と会話する機会がたくさんありました。ハワイ大学では大学生と2対1で話しました。最初はとても緊張しましたがそんなに固い話題ではなく好きな日本のアニメなど話しやすい内容だったので話していて楽しかったです。プナホウ高校では日本語を勉強している高校生と話すことができました。ハワイは観光が主な産業のため英語の他に日本語や中国語など他国の言語を学ぶ人が多いらしいです。その人は日本語が上手くて私も頑張らなとなぁと思われました。

もちろんハワイ観光も楽しかったです。日立の木でおなじみのこの木なんの木があるモアナアガーデンやダイヤモンドヘッド、そしてなんといってもディナークルーズです。帰国前日の夜に船に乗りました。最終日ということもあってみんなのテンションはとても高かったです。船内ではバス対抗の大声コンテストというものがありました。どこのグループも頑張っていたのですがハイテンションな高校生には敵うはずもなく見事に私たちが優勝しました。ほかのグループの人に若干引かれましたが…。船からは夕日も見る事ができました。日が沈むその瞬間は絶景でした。また、日が沈んでからは星がきれいでした。日本とは比べ物にならないくらい星が見えていて私は運よく流れ星を見ることができました。このクルーズは絶対に忘れません。

ハワイでの一週間はとても充実した一週間となりました。こんな機会はめったにないです行ってよかったと本当に思います。この研修にかかわってくださったすべてののかたに、ありがとうございました。

2年4組3番 U.T

僕は、ハワイ研修に参加して感じたことが2つあります。1つは言葉の壁です。僕がワイキキの服屋に行ったとき、店員の人が英語で話しかけてきました。話していることはある程度理解できるのですが（簡単な英語に直してもらったこともありましたが）、自分から話しかけようとすると言葉が出てこず、少し考えてから英語で話しかけるといった具合でした。そのため会話もあまり長く続きませんでした。しかし、かのバラク・オバマ大統領の母校であるプナホウ高校の生徒で高校の案内をしてくれた子は普通に会話できるレベルまで日本語を話せる人もいました。プナホウ高校では週に1回会話の授業があるらしいの

で、僕も speaking についても学ぶ必要があると思いました。

2つ目は、多くの人に会い多くの経験をする必要があるだと思いました。ハワイ大学で講義を受けたのですが、講義を担当してくれたジョージ・タナベ教授が言っていた言葉に感銘を受けました。それは、「You should meet many people who are individuals around the world. (多くの人に会いなさい。世界中の個人個人と。)」という言葉です。僕はまだ知らないことが多いので、多くの人と会って自分の知識を広げていきたいと思いました。それがグローバルな社会で生きるために必要なことだと教授もおっしゃっていました。

ハワイ研修は本当に楽しかったです。ダイヤモンドヘッドからの絶景はとても素晴らしいものでした。また最後の夜のディナークルージングでは本当にはしゃぎました。ハワイの美女とも写真を撮れたのでよかったです。

K先生、S先生、また添乗員さん、本当にありがとうございました。

2年4組4番 U.N

いつもなにげなく過ごしてしまう一週間、ですが今回の研修ですごした7日間は、刺激をたくさんもらった一週間でした。

まずは、観光です。日立の樹、ヌアヌパリでのジュラシックパークのロケ地にもなった深い緑、ワイキキのビーチ、最終日のディナークルーズで海上からみた夕日など、数え切れません。中でも私はダイヤモンドヘッドからの眺めが一番印象的でした。険しい坂道や、もともと米軍基地だったトンネルや階段をのぼると、私の想像をはるかに超えた美しい海が目の前に飛び込んできて本当に感動しました。

次に、メインのハワイ大学での研修です。授業では置いていかれないだろうか心配でしたが、わたしのクラスの先生のマーラや、Dr. Tは大きいジェスチャーと簡単な単語に言い換えて話してくださったおかげで、とてもわかりやすかったです。Dr. 私自身も伝えたいことをジェスチャーを通してわかってくれることが何度もあり、大切なんだなあ実感しました。また、初日、意見がなかなか出なかった私たちにマーラは「自分の意見をもっとはっきりさせるべきだ。これから外国の人々と交流していく中でもっと必要になるよ」と言われたのも衝撃でした。二日目のプナホウ高校での交流もとても楽しかったです。私と同じぐらいの年の子や、私達と英語ではなく日本語で会話してしまうほど流暢な日本語で、同じ年の子がはるかにレベルの高い習得をしていて、かっこいい！と思いました。

長いようであつという間だった7日間は、ずっとここにいたい、また来たいと何度も思うほど楽しかったです。この経験を生かしてこれからも英語を頑張りたいと思います。

2年4組5番 O.T

僕は英語を学ぶこと、外国の文化に触れること、そして観光を目的としてハワイ研修に参加しました。これまでテレビでしか見たことがなかった数々の名所に行きことができ、日本とは違うその景色にとっても感動しました。特にディナークルーズで見たダイヤモンドヘッドや日が海に沈む光景はとても美しく、印象に残っています。その他に僕はハワイで2つの重要なことを学ぶことができました。

一つ目は自分の意見をしっかりと主張することの大切さです。ハワイの方々は皆、各々しっかりと自分の意見を持ってそれを口に出して主張することを日ごろから行っていました。それは日本人が苦手とすることであり、また重要なことでもあると思うのでこれからは自分の意見をしっかりと主張する練習をしなければならないと僕は考えています。

二つ目は母国のことについてもっと学ぶ必要があるということです。僕が現地の方にハワイについて尋ねるとほとんどの方が即答してくださり、ひとつひとつとても深いことまで教えていただきました。それに比べて僕が現地の方々に日本について尋ねられたときには、長く考えたうえ曖昧なことしか返せない、というようなことが多々ありました。単純に英語で表現することが難しかったということだけでなく、自分の国についてそこまで考えたことがなかったためです。これはとても恥ずかしいことだと思います。最低でも外国人にしっかりと説明できる程度には母国のことを知る必要があると痛感しました。

ここに書ききれなかったことも含め、1週間という短い期間でしたが、直に外国の文化に触れる貴重な経験をするのができてたくさんのことを学ぶことができました。付き添いに来て下さった先生方、添乗員のみなさん、本当にありがとうございました。

2年4組13番 S.H

僕は今回のハワイ研修でたくさんを学ぶことができましたと思います。もちろん、英語で授業を受けたり、実践的に大学の生徒と話したりと英語を使う機会もかなり多く、自分の語彙力の無さを痛感しこれから頑張って勉強していかなければならないと思わされました。しかし僕のなかで英語に触れる事以上に良い経験となったと思うのは現地の人、風土、環境、歴史を肌で感じる事ができたことです。ハワイ大学内では通貨やフラについての授業を受け、昼休憩にはキャンパス内で自由に過ごしました。フィールドワークの時間にはハワイの歴史や政治に関わる建物をめぐり、ハワイに住んでいるからこそ分かるような詳しい情報を先生から伺いました。大学の寮に宿泊し朝夕はカフェテリアで食事を取ったということも、個人で旅行として行ったのでは味わえないような経験になったと思います。

そして何より1週間の研修の中で最も価値があったと感じたのは T 先生による移民についての講義でした。主に自身の家族についてのことだったのですが、ハワイへの移住の経緯や複雑な家族構成、多くの人種が混ざり合ってハワイが現在のような姿になっていること、戦争を通じて自分とは何なのかを考え「自己」をしっかりと持つ大切さなど、日本に住む日本人とは違った日系人としての視点や考え方を学ぶことができました。講義を受け終わってからはハワイの雑多な人種や文化もとても素晴らしく思えて講義の内容についてもっと詳しく知りたいと思いました。

そのほか、班別行動で買い物をしたり観光地へ行ったりディナークルーズがあったりと日本にいては感じる事の出来ない現地の雰囲気や存分に味わうことが出来ました。最初は長いと考えていた1週間も終わってみるとあっという間でした。英語の習得という点からすると少し物足りない部分もあったのではないかとはいいますが、学校から研修に行く、ハワイについて勉強し体験しに行くという点ではとても意義のある研修になったと思います。今回のプログラムに関わってくださった方々、K 先生、S 先生、ありがとうございました。

した。

2年4組18番 T.D

私は海外の大学の魅力の一端に触れることが出来ればという思いでハワイ大学研修に参加しました。

ハワイ大学での授業は先生が易しくして下さったので理解するのに然程苦労はしませんでした。その中で刺激的であったのは、ハワイ大学の学生とのインターチェンジ・プログラムです。国内にも多少ネイティブの人はいるので英語圏の人と話すことが出来ないとは言いませんが、機会は少ないですし時間も限られたものです。対して、このプログラムでは面と向かっての50分。私たちの英語力に働きかけてくるものは明らかに違いました。授業の理解は簡単だったのですが、飽くまで簡単であったのは『伝わってくることを理解する』ことで『自分からの授業』が易しかったわけではありませんでした。よりよい授業のためにはやはり自分の英語で発信する力が欠けていたことに嫌でも気付かされました。逆に言うならば、自分の未熟さを間違いない形で知ることが出来たので、今後の英語学習の大きな動機になると確信しています。

最後に最も印象に残っている研修後の先生との会話について書きます。「何のためにハワイに来たのか」という先生の問いに対して私は「自分の視野を広げるため」と答えました。続けて「それは達成できたのか」と尋ねられ、私は「おそらく」としか答えられませんでした。自分に新しい考えがあったに関わらず、現実味がなく多分としか返事出来ませんでした。私は何れは海外にでて働きたいと考えているので、その近道が海外に出ることであることは以前より認めていましたが、考えに上ることはありませんでした。しかし、この研修を通して、海外に行きたい思いが強くなりました。正直に言って、そのような希望は今の私には不相応です。けれども、今後努力して留学に値する自分があるならばもっと真剣に考えてみたいです。

2年4組22番 N.H

僕はもともと海外の人、文化、思想に深い興味がありました（もちろん今もです）。だからハワイ研修の話をもっと先生から聞かされたとき、魅力的な話だと思いました。ハワイに行かせてもらえた経験から言いますと、人の思想（俗に言う心理学）に少しでも興味がある人には強くお勧めします。ハワイに行くと新しい自分の世界が見えてきます。日本人以外の考え方は新鮮味にあふれています。

ハワイに行ってもまず思ったことはあまり暑くないということです。気温自体は高いかもしれませんが日本のようにジメジメした湿度の高い気候ではないです（そのおかげで向こうの人達も明るい性格でした）。あとこれは人によってはどうでもいいことですが、虫がほとんどいません。蚊に悩まされることもありませんでした。それに乾燥した風も吹いてきますのでだいぶ過ごしやすかったです。なかでも3日目にダイヤモンドヘッドに登ったのですが登る途中や頂上で吹いてくる風は爽快そのものでした。山頂から見下ろした景色には一面の緑が見えたり、また別の方向を見ると綺麗な海岸線が広がっていました。ハワ

イは都会でも緑豊かな素晴らしい地域です。

ハワイ大学やプナホウ高校の人たちとの交流も刺激的でした。ハワイ大学では現役生と All English で趣味の話や日本の何に興味があるかを知ることができました。日本が外国の人からどのように思われているのかの生の考えをきくことができました。大体の人が聞いたことあるように日本に興味を持つ人はほとんど日本のアニメや映画の影響を受けています。特にジブリ作品は好まれています。交流中に英語が出てこない場合も当然ありました。その場合はジェスチャーなどを使うとなんとか伝わりますし、向こうの人達も日本語は程度の差はありますがわかっていますのでなんとか伝わります。それに適する言葉も教えてくれました。

今回の研修を通してますます海外の人や思想、文化、海外自体に興味を持ってました。日本から1歩出てみるだけで元々あった外国に対する考え方が大きく変わりました。この研修に関わって下さった方に感謝の気持ちでいっぱいです。

2年4組23番 N.N

ハワイで過ごした一週間は、とても充実したものでした。

私にとって、このフィールドワークは初めての海外旅行だったので、日本を出発するときは期待と不安でいっぱいでした。ハワイに着いて、私はまず、空の青さに感動しました。明るい太陽、透き通るような海、緑鮮やかな木々を目にして、すがすがしい気持ちになりました。これから一週間この環境の中で過ごせると思うと、とてもワクワクしました。

ハワイでの一週間を通して一番に思うことは、日常的な英語に触れ合えたということです。普段の英語の授業では習わないような日常会話を聞くことができ、とても新鮮でした。さらに、私はこの日常会話の中で、向こうの人と日本人の大きな違いを感じました。それは、向こうの人は Sorry という言葉をあまり使わないということです。例えばエレベーターから降りるときに、開くボタンを押して「先にどうぞ」と言われたら、私たち日本人は、たいてい「すみません、ありがとうございます」と言います。私はその感覚で、とっさに Sorry と言ってしまいました。でも逆の立場になった時、向こうの人は Thank you とだけ言って降りていきました。このことには、日本との文化の違いがはっきりと表れているなと思いました。

また、ハワイ大学での授業では、自分の考えを述べる機会がたくさんありました。日本語で説明したら何でもないようなことでも、英語で伝えようとすると、なかなか単語が出てこなかったり、微妙なニュアンスが伝わらなかったりして、とても苦労しました。でも、向こうの先生や大学生の方に自分の英語での説明をわかってもらえたときは、大きな喜びがあり、その喜びは英語で話すことへの自信にもつながりました。

このフィールドワークに参加して、英語に囲まれて過ごした日々からいろいろなことを学びました。食文化の違いなどによる戸惑いもありましたが、ハワイでたくさんの貴重な経験ができたことを、私は幸せに思います。

2年4組34番 M.N

このハワイで過ごした一週間はとても充実してあってという間でした。

ハワイに到着してまず、陽射しが強烈なのに意外と涼しいことに驚きました。日本では体感したことのない空気で、ここがハワイなのだ実感しました。初日は観光をして、次の日からハワイ大学でのプログラムが始まりました。

英語オンリーの授業についていけるのか、とても不安でした。でも実際にクラスが始まってみると、先生はとても丁寧に話して下さるので、だいたい理解することができて楽しかったです。

プログラムの中で一番印象に残っているのはインターチェンジというハワイ大学の学生さんと会話する時間です。先生は私たちが分かりやすいようゆっくり話してくれますが、学生さんはもっと速いスピードで話すので聞き取るのが大変でした。それでも何とか趣味や日本のことについて話したり、ハワイのお勧めのお店を聞いたりできました。でもなかなか言いたいことが英語にできず、自分の英語能力のなさ、とくにボキャブラリーの少なさを実感しました。

また英語の授業のほかにフラダンスの講習もありました。初めての経験で面白かったです。ちなみに私のクラスは修了式の出し物でフラを踊ることになったので、ワイキキビーチでみんな練習したりして楽しかったです。

もちろん勉強漬けではなく観光もできました。ワイキキビーチやダイヤモンドヘッド日立の木の公園などに行き、どこもまるで写真の中みたいで感動しました。アラモアナショッピングセンターで買い物をしたり、インターチェンジのときに教えてもらったお店に行ったりもしました。海で泳げなかったこと以外は本当にハワイを満喫できました。

この研修は、英語面でも外国の文化を味わえたことでも、とても貴重な経験になったと思います。本当に楽しかったです。参加させてくれた両親、先生方に感謝します。これだけの経験をさせてもらったからには英語をもっと頑張らないと……！と思います。

2年4組38番 Y.K

僕は英語を使って外国人とコミュニケーションを取れるようになりたいと考えていました。英語を勉強するからには、それを使いこなせるようになりたいと思っていたのです。それで、今回のプログラムで英語を「話す」力を向上させたいと思い、参加することになりました。

ハワイ大学での授業は、日本の英語の授業とは大きく異なっていました。授業では英語のみを使うことを求められ、積極的に発言するようにも言われました。しかしながら先生は親切で、僕たちにもわかりやすいように話してくださいました。ただ、授業は座学だけにとどまらず、フラダンスのレッスンや、フィールドワークでハワイの街を先生と一緒に歩いたりする時間もありました。なかでも、「インターチェンジ」の時間は僕にとってとても有意義な時間だったと思います。

「インターチェンジ」とは、ハワイ大学の学生と自由に会話をする時間のことで、会話力を磨くのもってこいのプログラムです。現地の学生さんはみんな親切で、自分のつたない英語でも通じたことが驚きでした。他にも、レストラン、ショッピングセンターなどで英語を使う機会もありましたが、そのようなときに何かを言おうとしてもすぐに言えな

いときもあり、日常会話の大切さを痛感しました。

ハワイでは、日本とは異なる自然も魅力的でした。なかでもダイヤモンドヘッドの山頂から眺めた景色は特に印象に残っています。ビーチも沖も一望でき、水平線まで見渡せたときの感動はいまでも忘れられません。海外の環境を味わうことができたのもハワイ研修の良かった点だと言えます。

すべてが新しい環境のなかで英語を勉強できたのは、とても貴重な体験になったと思います。この研修を機に、今まで以上に英語を勉強しようと思いました。そして、来年以降、このプログラムに参加したいと少しでも考えている人がいれば、是非とも参加してほしいと思います。

2年5組3番 I.S

僕は以前に一度家族旅行でハワイを訪れていたもので、今回の研修は二度目のハワイでした。でも、学校の友達と一緒にいき、普段と違う環境で英語を学ぶことを、とても楽しみにしていました。

今回の旅では、勉強と観光、その両方を楽しみました。

観光では、オアフ島を代表する名所を多く見てきました。ダイヤモンドヘッドやヌアヌパリから見たハワイは、南国の太陽に照らされて、緑が鮮やかで海がキラキラしていて、素晴らしい絶景でした。サンセットクルーズで船から見た優しい夕焼けも忘れられません。そして何より、ハワイの町は日本と比べて明るい、と思いました。ハワイ大学も、住宅街も、ビルが立ち並ぶ島の中心部も、明るい雰囲気満ちていて、歩いていてとても気持ちよかったです。

勉強面では、ハワイ大学でディスカッションの仕方を学びました。英語だけで説明され、英語だけを使って考え、英語だけを使って発言し、英語だけを使って話し合うのは、相手に正しく伝えるために普段よりも頭を使ったし、相手の発言を正しく聞き取る練習にもなって、普段の英語の授業とは少し違う楽しさがありました。特に、ハワイ大学の学生さんと交流したときは互いに好きなことやハマっていることなどを話して、とても有意義で楽しい時間を過ごせました。また、ダウンタウンでの先生によるガイドや、フランダンスの講習や、プナホスクールでの交流のときなどには、こちらのことをとても気遣ってくれて、僕たちが楽しめるように工夫してくれているのが分かって、ハワイの人たちの優しさや思いやりを感じました。それに、ハワイの人たちはとても明るくて面白い人ばかりで、一緒に話すのはとても楽しくて、種族や言語の違いは全く感じませんでした。

今回のハワイ研修を通して、これまで少し苦手意識のあった英語に対する意識も変わりました。文法とか、難しいことはまだ分からないけれど、英語を使って人とコミュニケーションをとるのはとても楽しいことだと分かりました。将来どんな道に進むかはわかりませんが、海外の人と英語で関わっていくような仕事も悪くないなと思います。だから、これからもっと英語を覚えて、今度はガイドも何もなしで、もう一度ハワイに行きたいです。

2年5組17番 S.R

僕はこの研修を通して英語にもっと興味を持ちたい、海を越えて異文化に触れたいという思いでこの研修に参加しました。

ハワイ大学での授業は先生が易しくレクチャーしてくださったので、僕には得ることが多くとてもよい物となりました。その中でも、僕が一番感慨深かったものは、インターチェンジ・プログラムです。現地の大学生と、会話をするというのは、とても緊張しましたが、彼らが優しくリードしてくれたので、会話は成立しました。ただ、やはり自分の語彙力では、なかなか相手に細かいニュアンスまで通じなかったのが、これを克服することが今後の僕の課題です。

また、フラダンスもいい思い出となりました。まず、驚きだったのが、昔のフラダンスは男性が踊るものだった、ということです。それは、「フラ・カヒコ」と呼ばれます。僕らが学んだのは「フラ・アウアナ」という、現代のフラダンスです。フラの動作には一つ一つ、意味が込められていて、とても興味深かったです。またそれを、最後の授業でグループAのみんなと踊ったのは感慨深いです。

また、大学の寮での生活はまた日本と違ってすごく、刺激的でした。寮のカフェテリアでの食事や、エレベーターでハワイ大学の学生に話しかけられたりして、とても面白いものでした。

また、研修中もダイヤモンド・ヘッドや、ワイキキ散策、ビショップ・ミュージアムなど、ハワイを満喫することができたのでとてもいい経験になりました。知らない街なので現地の人に道を尋ねたり、話をしたりする中で、自分が少しずつ英語を上達していくのを実感できてすごく楽しかったです。

僕はこの研修を通して英語や異文化に対する興味が深まりました。また、その中で、相手とコミュニケーションをとるときに自分から積極的に会話をするのが大事であることを体感することができました。僕はこの経験をするチャンスを下さった、先生、添乗員の方、両親に感謝の気持ちを持って、自分の英語の能力を高める動機づけとしたいです。

2年5組28番 N.H

僕は今回のハワイ研修は高校生活の中でも1、2を争う素晴らしい思い出になりました。なぜなら、海外で友達と一緒に一週間近くも過ごすなんてこと初めてで、さらにそれによって新しい友達ができたり、以前からの友達とさらに仲良くなることができ、また、英語を話す楽しさや、異なる考えを交換することの楽しさを知ることができたからです。

そういうのも、ハワイを訪れるのは今回が二度目だったのですが、前は家族とだったので、友達と行くという楽しさを味わったことはありませんでした。なので今回、みんなと一緒にご飯を食べたり、遊んだり、寝るのはかなり楽しかったです。また、同じ班になった人はほとんど知らない人ばかりだったので不安でしたが、その人たちとも最後には打ち解けることができ新しい友達を作ることができました。

また、今まで海外で自分で買いものをするなんてことがなかったので、店員の言葉が聞き取れない時もあったしかなり緊張しました。でも、友達と助けあって何とか乗り切りました。ですが、そのような状況はほとんどなく、大体聞き取れたし、自分の伝えたいことも何割かは伝えることができました。(単語だけがほとんどでしたが。) また、ごはんは思

いのほかおいしくて、しかも朝晩はほとんどバイキングだったので、かなり食べてしまい帰ってきたときには2キロ太ってしまいました。(笑)

そして今回のハワイ研修の本来の目的である語学研修はかなり興味深いものでした。僕たちC班の先生であったマーラはとても親切でゆっくり英語を話してくれて僕たちも聞き取ることができました。その中で僕が最も楽しむことができ、考え方を変えさせられたのはハワイ大学の学生とのディスカッションです。学生の方一人に対して北野生が二人という形で行いました。話した内容は、好きな食べ物、日本のどこが好きか、好きなアニメ、などのたわいもない話でした。しかし、こんな少しのことにも異文化による考えの違いがありました。そうして話しているうちに海外の異文化の中で育った人たちと話すことがほんとに楽しいことがわかりました。

今回のこの経験から海外は危険もあるけど本当日楽しいところだと分かり、ぜひまた行きたいと思いました。

2年5組32番 H.T

この研修を夏休みが終わった今になって振り返ってみると本当に楽しく、そしてさまざまなことを学べた有意義な1週間でした。

僕がこの研修に応募したのは、海外に行って自分の英語の実力を試したかったという気持ちもありますが、去年の夏にハワイ研修から帰ってきて再び練習に参加するようになった先輩方が僕たちに言った、「ハワイ研修はとても楽しくていい思い出になる。行かなかったら絶対に後悔する。」という言葉思い出し、応募しようと決心しました。

ハワイ研修ではたくさんの「発見」がありました。その一つは自分の英語力はまだまだ不十分だということです。僕はハワイに行くまでは文法がおかしくても、伝わればいでしょう、それに日常で使うような英単語はほとんど覚えているから大丈夫でしょう。そう思っていました。ですが、実際にはそうではありませんでした。僕がハワイ大学での授業で、何を飼っているか聞かれたとき「イモリを家で飼っている」と言おうとしましたが、「イモリ」という単語が出てこず、とても困りました。また、僕たちがハワイの観光地の一つであるビショップ・ミュージアムに行ったとき、そのハワイの歴史に関する史料の説明が英語でしか書かれていなかったもので、読むのにとっても苦勞し、結局ほとんど読むことができませんでした。この2つの経験から、ハワイ研修後にはまじめに英語を勉強しようと思うようになりました。

このハワイ研修ではたくさんのアメリカ人と話しました。その中には、とてもシャイな人や両親がドイツ人の人などアメリカ人といっても様々な人がいるということをおぼろげに思われる人ばかりでした。これもまた一つの「発見」だと思います。将来、これらの「発見」を生かして国際的な人材になっていきたいです。

2年6組2番 A.I

私は今回のスタディーツアーでたくさんのことを学び、たくさんの貴重な経験をすることができました。

ハワイに到着して、まず驚いたのが、やはり日本人の観光客が多いからなのか、現地の方は日本語を話せる方が多かったことです。入国審査ではガチガチの英語で質問されるだ

ろうなあと覚悟して行ったのに、日本語で話してこられたので少し拍子抜けした気分でした。一方、日本語が通じないこともやはり多々あったので、お店の注文などで苦労したことも多かったです。特に印象に残っているのが、初日のアラモアナショッピングセンターのクッキー屋さんでの注文の時のことです。注文のスタイルや値段表示が日本とは全く違った上、店員さんは日本語が話せなかったため、友達と2人で何とか英語で店員さんに話しかけて、目当てのクッキーを買うことができたときの喜びは忘れることができません。

また、ハワイ大学では本当にたくさんのいい経験をすることができました。私たち B 組のロバート先生は 14 人一人一人にニックネームをつけてくれました。私はその時に付けてもらった Isabel というニックネームがすごく気に入っています。特に Interchange と プナホウ高校での現地の高校生との交流は私にとって最もいい経験になったと思います。言いたいことが上手く伝わらなかったり相手の英語が聞き取れなかったりして少し困った時もあったけど、通じた時や会話が弾んできた時はすごく嬉しかったし、その時の達成感はずごく大きかったです。普通の観光では体験できないハワイ大学寮での生活も、すごく楽しかったです。その他にも、フラダンスや、ワイキキの海辺ではしゃいだこと、ダウントウンでのフィールドワーク、ダイヤモンドヘッドの頂上からの絶景、寮やホテルの夜に皆で話したり遊んだりしたこと。本当にたくさんの経験ができました。

最初は英語がちゃんと話せるかどうか不安でいっぱいでした。しかし、日が経つごとに英語で話すことがどんどん楽しくなってきた、英語のスキルも少しは伸ばすことができたかなと思います。普段経験できないようなこともたくさんできました。ハワイでの全ての出来事が私にとってかけがえのない思い出です。本当に行ってよかったなと思います。楽しくてとても身になる 8 日間でした。

2 年 6 組 30 番 N.K

本当のところ、ハワイで勉強しよう！と思ってハワイ研修に参加した生徒は多くないかもしれませんが、しかし、ハワイ研修を終えた今、ハワイ研修の勉強に満足していない生徒などほとんどいないと思います。それは、僕たちのために、K 先生や S 先生などの北野の先生方、ハワイ大学の先生方や生徒達、ハワイの人々、そして、旅行会社の方達などが熟考なさって素晴らしい企画をご用意してくれたからです。彼らのおかげで、心を除いて何も変わらず無事に帰ってくることができました。本当に感謝しています。

ところで、今「心を除いて」と書きましたが、ある 3 つのことに対して思うことがありました。

一つ目は、地元の人々の態度についてです。大学の先生方やインターチェンジの生徒達など地元の人々は、日本人と違って初対面の人を前にしても堂々とはっきりと話されていました。これは自分の意見に自信を持っているからこそできるんだと感じ、外国のディベートの授業で養った能力のおかげなんだろうとディベートの授業の良さを実感しました。また、ハワイ研修で行ったディベートは予想以上に楽しかったので、日本にももっと採り入れて欲しいと思いました。最後の夜のナイトクルーズでは、もちろん海や食事も楽しめたのですが、ハワイの伝統的なダンスが最高でした。最後に陽気になってみんなで踊ったときも、ハワイに来て本当に良かった！と思えました。

二つ目は、ハワイの文化遺産について思いました。オアフ島にはたくさんの歴史的な建造物がありました。ハワイの人々はこのように身近に昔の建物があることによって、昔からの伝統を忘れることなく暮らしていけるのかなと思いました。

三つ目は、ハワイの美しい自然についてです。ハワイには大阪では見られないたくさんの美しい自然がありました。海もとても綺麗でたくさんの人々がビーチで海水浴を楽しんでいました。僕が見た自然で一番美しいと思い感動したものは、ダイヤモンドヘッドの頂上から見える景色です。美しい木々の森が見え、何よりも海が本当に綺麗でした。最近日本では海の水質汚濁が進んでいるので、こんな海を大阪でも見るようにしたいなと感じました。

これらのハワイでの経験をこれからの生活に生かしていければなと思います。

2年6組31番 H.M

今回のハワイ研修を通して、普段では体験できない貴重な経験を数多くできました。最初は少し不安な部分もありましたが、ハワイに着くとそんなことも忘れてしまうくらい楽しめました。ハワイでの体験はすべてが新鮮で、吸収することや学ぶことがたくさんありました。

その中でも特に印象に残っているのはフラダンスです。今までなんとなくしかフラダンスをしたことがありませんでした。しかし、本場のフラを先生に教えてもらうにつれてイメージとは全く違う動きだということが分かりました。フラの歴史は想像以上に長く、昔は男性だけがしていた、ということも初めて知りました。フラには1つ1つの動きにちゃんとした意味があります。私たちは「hukilau」という音楽でおどったのですが、これには海での漁を表すおどりが多く含まれています。基本の動きを教えてもらったあとに実際に曲に合わせてみんなでおどりました。足と手の動きが全然合わず、先生のようになめらかにおどるのはとても難しかったです。しかし、1つ1つの動きが表していることをイメージしながらおどると、少し上達した気がしました。フラダンスレッスンは楽しくて、レッスンが終わった後もずっと頭の中で音楽が流れていて気がつくと手が動いていました。

ハワイ大学の最終日にクラスごとに出し物をいけなかったのですが、私たちのクラスはみんなでフラをしようということになりました。担任の先生はフラがすごく好きで私たちがフラをしたいと報告するととても喜んでくれました。本番ではトップバッターだったにも関わらず、みんなで楽しんでおどれたとおもいます。最後の決めポーズも成功したのではないかと思います。本場ハワイでフラを思う存分楽しめて、満足できました。

ハワイに行ったことによって、今まで話したことがなかった人とも仲良くなれたのもすごくよかったです。また、英語をもっと勉強したいとより思いました。短い期間ではありましたが毎日が充実していました。ハワイに行って本当によかったです。今回の研修に関わってくださった全ての方に感謝しています。ありがとうございました。

2年7組17番 D.A

私がハワイ研修に参加しようとしたきっかけは、昔から海外に憧れていて、ずっと行っ

てみたかったからという些細なことでした。

研修が始まる前は、初めて海外に行くということと、自分の英語が伝わるのかという不安で一杯でした。

授業が始まり、最初は、同じ班の中でも知らない人も多くいたので、英語で自己紹介をすることになったのですが、日本語とは違って、自分の趣味などを思った通りに言えませんでした。読書をするのが好きだ、とは言えても、本のジャンルを聞かれても詳しくは答えられなかったのです。私はそこで、英語は深いものだな、と改めて感じました。

また別の日には、小さめのグループに分かれてディスカッションをしました。お題は食べ物や自分のオススメの場所についてなど、話がしやすいものでした。しかし、いざ話してみると、日常的によく使っている単語を英語に変換できなかつたりして、上手く相手に伝えることが出来ませんでした。でも、その中でも何とか相手とコミュニケーションを取ることでもでき、英語で話すことの楽しさも学ぶことが出来ました。

さらに、ダウントウンのフィールドワークにも行きました。そこでカメハメハ大王の像を見たり、教会に行ったりもしました。そこでハワイの歴史と文化を少し学んだりしました。また、道路を歩いていると、標識が英語で、模様も外国風で、町を歩くだけでもたくさんの発見があり、すごく楽しかったです。

これらの授業のプログラムの中で、最も私の印象に残ったものは、最後の卒業式の時にやった出し物です。私たちの班は歌を歌ったのですが、最初の選曲から全て自分たちでやり、途中思わぬハプニングに見舞われましたが、何とか最後まで歌いきることができました。私たちの班がまとまった様に感じました。

これらの他にも、様々な面白いプログラム、観光などハワイの歴史や文化についてもたくさん学ぶことができました。私のハワイでの一週間の中で最も大きく成長できた部分は、英語使って自分から話すことが恐くなくなり、さらには楽しんで話せる様になったことだと思います。

最後になりましたが、ハワイでとても面白い授業をしてくれた Marla 先生、一緒に活動してくれたメンバー、そして、ハワイに行くことをすんなり了承してくれた母、皆さんありがとうございました。

2年7組22番 N.Y

ハワイでの7日間は本当に充実した楽しいものでした。今回この研修に参加した理由は、ただ単純に英語が好きだったからです。生の英語の環境の中で、自分がどこまでできるのか知りたいと思いました。

とくに記憶に残っているのがインターチェンジです。インターチェンジというのは、ハワイ大学の現役大学生と1対2で1時間ほど話をするというものです。もちろん英語で話します。話題は決められおらず、趣味や学校生活など、本当のハワイの生活を聞くことができて新鮮でした。下手な英語も熱心に聞いてくださって、自分の英語は通じるんだと自信にもつながりました。

フラダンスレクチャーもすごく楽しかったです！私が想像していたフラとは大分違っていました。教えていただいた先生はテンションの面白い方で、ずっと笑顔でした。言葉が

通じなくても一緒に楽しい時間を過ごせるんだな、と深く感じました。

ハワイで一番驚いたのは大学の食堂です。完全なビュッフェのスタイルで、大きな長いテーブルがいくつもあるとても広い食堂でした。料理はどれもすごくおいしく、種類も豊富で感動しました。(笑)そこで印象に残ったのが、学生の方たちの様子でした。まだ人が多くなく、ほかにたくさん席が空いていても、男女の関係なく、友達に声をかけいっしょに食べていました。みんな仲が良かったです。日本ではあまり見かけない光景でいいなと思いました。私も彼らのようにフレンドリーに話しかけるといふ姿勢を持ちたいです。

ハワイの生活はあっという間でした。行く前はきちんと話せるか不安もありましたが、行ってしまおうとそんな不安なんて忘れるほど楽しかったです。話せる話せないなんて関係ない、気持ち次第だと思いました。本当に良い体験ができてよかったです！

2年7組27番 F.K

僕は今回のハワイ研修でたくさんのことを学びました。ハワイに行くのは初めてで、緊張し、また自分の英語が外国の方に通じるのかという不安もありました。しかし、こんな機会は滅多にないし、自分の世界をもっと広げてみようと思い参加しました。

ハワイでの観光はとても楽しいものでした。ダイヤモンドヘッドの頂上からの絶景や、ハワイの透き通った海、そしてディナークルーズから見る花火には特に感動しました。

また、僕たちの班の担当の先生である Robert 先生は、とても優しい方でした。僕たちがなるべく英語を聞き取りやすいよう、ゆっくりと簡単な表現に直して話してくださいました。別れの際は、一緒に写真も撮ってください、「また是非ここを訪れてね。」と言ってくださり、別れがとても寂しかったです。

そして、やはり一番印象に残っていることは Interchange です。それはハワイ大学の生徒さんとの会話 50 分を 2 回するというものでした。始める前は、自分の英語がしっかりと伝わり、ちゃんとした会話をすることができるのか、50 分もの長い間、会話を持たすことができるのかと不安でいっぱいでした。最初は、やはり緊張もあってか単調な会話になってしまい、相手の方にどうしても話題を振ってもらってばかりいました。ですが、後半の 30 分ほどは、ハワイや日本の食べ物、観光地などの話をし、意気投合した話題では特に盛り上がりました。普段体験できないことだけに、人生でかけがえのない体験をすることができたと思います。そして、つたない英語だったとはいえ、実際に現地で会話することで、自分の英語が確かに伝わっているという自信にもつながりました。

ハワイでの一週間は、長いようでいてあっという間の時間でした。それは、すべてのプログラムが楽しかったからだと思います。この研修で、もっと実用的な英語もあわせて、コミュニケーション能力を高めていこうと思いました。こんな、有意義で楽しい研修を企画して下さった皆さま、本当にありがとうございました。

2年7組28番 F.K

今回のハワイ研修では、様々な貴重な体験ができた。

まず、普段の学校の英語にはない、本物の英語に出会えた。会話を中心とした授業では、

今までに培ってきた私の英語を、他者にどのように表現するのかを学べた。さらに、現地の大学生と 50 分の間語り合う interchange では、懸命に話す中で、時には日本との違いに驚き、時には共感し笑い合い、英語で会話する楽しさを感じた。

また、日本とは異なる様々なものに出会い、ハワイ、そして、アメリカという世界を肌で感じる事ができた。まず、ハワイの自然は本当に美しいと思った。ワイキキビーチの青く澄みきった海とどこまでも広がりゆく水平線、ダイヤモンド・ヘッドの頂上から一望するオアフ島、ディナークルーズから眺める、沈みゆく太陽と煌めく海など、数え切れないほど多くのハワイの自然が今でも鮮明に脳裏に映っている。また、ハワイの気候は案外暑くなく、快適だった。さらに、フラダンスや BISHOP MUSEUM の見学、ダウントウンフィールドワークなどの様々な活動を通じて、ハワイの歴史や文化、思想の一端を垣間見ることができた。だが、食べ物は脂っこく、美味しかったが、私は日本食のほうが好きだ。

さらに、世界に対する私の考え方が変わった。この研修以前は、私は世界の人々との関係は無に等しいものだと思っていた。だが、Dr.T 教授の講義により、グローバリゼーションの進展に伴い、日に日に縮みゆくこの現代世界において、自国の文化が他国に、他国の文化が自国に直接影響し、ある意味では国境は失われつつあるものだと知った。

ハワイでは、目の前には常にまだ見たことのない世界が広がっており、私の好奇心を刺激し続け、新たな世界への展望が開けた。このような素晴らしい機会に巡り合えて本当に良かったと思う。そして、このような機会を与えて頂いた家族、先生方、添乗員さんなど、すべての方々に心から感謝する。

2 年 7 組 36 番 Y.T

僕がハワイで体験したフィールドワークの中で一番印象に残っているのは、ハワイ大学の学生の方との交流です。

話す前までは、年齢も離れていて言葉も違うのに、コミュニケーションをとることが出来るのだろうかと不安でした。しかしいざ話し出してみると、スラスラとではありませんが言いたいことを何とか言葉にすることが出来、嬉しかったです。自分とは遠く離れた存在だと思っていた、外国の大学の生徒さんと今話しているというのがなんだかとても新鮮でした。もちろんうまく伝えられなかった部分もありましたが、身振り手振りでもっとだけ分かってもらえました。話す言葉は違っても、互いの考え、気持ちを伝えられるというのは本当に素晴らしいことだと思います。

その一方で、やはり自分の英語の拙さを痛感した場面も多くありました。うまく言い表すことが出来ずになんとなくはぐらかしたり、話を聞き取ることが出来ず適当に頷く度に、歯がゆい思いをしていました。もっとうまく伝えられたら、理解できたら。こう思うのは決して英語に限った話でなく、普段の生活においても感じる事が多くあります。そのためにはより一層の勉強が必要だなと感じました。

ハワイでは、交流や語学学習以外にも楽しいことがたくさんありました。ハワイの海辺の街並みを歩いたり、おいしい料理を食べたりと、たくさんの楽しいことの中で一週間という時間があっという間に過ぎていきました。

中でも僕の中で一番思い出に残っているのは、ワイキキのビーチで泳いだことです。

僕は今回が初めてのハワイだったので、申し込むときからハワイのビーチに行きたいなと思っていました。ところが、先生の話によるとビーチで泳ぐ時間は作らないとのこと。しかしどうしてもハワイの海を味わいたかった僕は、ワイキキ散策の時に友人を誘って宿泊先のホテルへ一直線に向かい、水着などの用意をもってワイキキへと戻ってきました。戻った時には既に汗びっしょりでしたが、海で遊べるという気持ちで疲れは全くなかったです。一時間半ほど海を楽しんだ後、僕たちはワイキキの街を、買い物をしたりアイスを食べたりして楽しみました。

目いっぱい楽しんだハワイ研修ですが、あくまでもいちばんも目的は言語学習です。決して夜部屋に集まって遊んだり飛行機の中でゲームをしたりするのがメインではありません、あくまでおまけです。

多くの人種が混在するアメリカの中でも、ハワイには特に多種多様な人々がいます。そういった人々の中の、日系人と呼ばれる方たちについてのお話を聴く機会がありました。お話して下さったのは、日系三世という世代に当たる方です。彼の祖父は、若いころに日本からハワイへと移住し、祖母に当たる女性も後を追ってハワイへ移り住んだそうです。二人の間に生まれた子は現地ハワイに住む方と結婚し、お話をしてくれた彼が生まれたのだそうです。祖父がハワイへ来てからの苦労や、戦時の様子など、たくさんのお話をしてくださいました。

聴き終わって僕は、「日系人」という言葉に強い違和感を感じました。確かに日本人の血を持っているのだから間違っていないのですが、日系人と呼ばれる人の体に流れる血というのは日本人の血と、どこか他の国の血の二つとは限りません。むしろそういったケースは少なく、たくさんの国地域にルーツを持つという人が多くいるそうです。そういった人々を「日系人」と呼ぶのはなんだかとてもおかしいことだと思いました。

ただ、これは結局のところ口先での問題です。それに、それを言うなら「日本人の血」とかいうのも同じようなものだと思います。

何が言いたいのかというと、こういった言葉の上の話でなく、多くの人の中に「日本」と「外国」という線引きがはっきりなされているのは、実にもったいないことだと思うということです。じゃあ全く同じように触れ合えと言うのかということではなく、もっと身近に感じてほしいというのが僕の意見です。自分とほかの国、国に限らず人でも、身近に感じることで新しいことをたくさん知ることが出来ると思います。

2年8組4番 I.M

この研修は私にとって初めての海外で、期待と不安でいっぱいでした。その不安要素の一つが自分が英語を話せるのか、話せたとして、会話が成立するのかというものでした。

そんな中ハワイ大学での研修が始まりました。ハワイ大学での授業は日本の様にただ見ているだけ、聞いているだけ、といった受動的なものではなく、生徒主体で授業を回していく、主体的なものでした。逆にいえば生徒自身がアクションを起こさなければ授業自体が止まってしまう、という事です。私たちのクラスは初め、緊張などもあり、先生に意見を求められた際に誰も答えられずクラスがシーンとしてしまう場面がたびたびありました。

そんなとき、必ず先生は「don't be afraid！」と繰り返し言いました。失敗を恐れてはいけない、チャレンジしなければ何も始まらない、と。その言葉でクラスの雰囲気は少しずつ変化していきました。積極的に意見を言う人が増えたのです。私は普段の授業でみんなの前で意見を言ったり、発表したりしないのですが、せっかくのハワイ大学まで来て小さく縮こまっていたのはもったいないな、と思い、このときはディスカッションでも率先して意見を言ったりしました。

そこで感じたことは、伝えたい英文を紙に書くより、実際に話すほうがはるかに難しいということです。英文を頭の中だけで組み立てることの難しさを知りました。でもめちゃくちゃな文法でも一生懸命、身振り手振りも混ぜて伝えようとするれば向こうも一生懸命理解しようとしてくれました。そのときは日本人の友達と話している感覚になりました。国が違ってもコミュニケーションがとれることにとてもうれしく思ったし、そして感動もしました。私は勝手に外国の人と距離を作っていたんだということにも気付きました。同時にいろんな国の人と繋がりたい、友達になりたい、と瞬間的に思いました。なのでもっと英語を勉強したいと思いました。全体を通してこの一週間は刺激的で大変有意義なものでした。この研修に参加してよかったな、と思います。

2年8組5番 IH

高校に入学して間もない頃、僕は英語が苦手で、授業のレベルが自分には高すぎて、ついていけないと感じていました。しかしこのままでは駄目だと思い、英語の勉強に励み、その結果、テストの点数は上がりましたが、英語を話すのは苦手のままでした。そこで、生の英語に慣れ、英語をもっと話せるようになりたいと思い、今回の研修に参加しました。

研修に参加することが決まってからも、外国でうまく話せるのか不安でしたが、いざハワイに来てみると、現地の人たちが"Don't be shy."と積極的に話すように言ってくれたので、少し気が楽になりました。ハワイ大学での授業ではディスカッションとインターチェンジがメインで、ディスカッションは北野生同士だったのでそれなりに話せましたが、インターチェンジでは相手がハワイ大学の学生だったので少し緊張してしまい、うまく話せなかったのが残念でした。また、プナホウスクールを訪問したときには、相手の学生が日本語を勉強していることもあり、日本語を交えて会話し、漫画やアニメなど日本の文化についても話すことができ良かったです。授業時間については、昨年度より一日一時間ずつ減らしたとのことでしたが、授業は会話がメインで、楽しく受けられたので、もう少し長くてもよかったと思います。また、ハワイ大学名誉教授 T 博士の講義では、日本人移民について日本から移民としてハワイに来た自らのご家族の話を交えわかりやすく教えていただいて、とても興味深かったです。

また、ハワイの観光も充実していて良かったです。ハワイはダイヤモンドヘッドなどの自然と、ワイキキ通りやアラモアナショッピングセンターなどの市街地があって、いろいろな場面で現地の人と英語で会話するので、ハワイを歩くだけでもほんの少しずつですが英語が上達していく気がしました。特にハワイ観光で印象に残っているのは、ハワイ大学の先生とのクラス単位でのフィールドワークです。現地の人にハワイを案内してもらえて、ハワイの歴史や文化がよく理解でき、クラスの仲も良くなりました。

僕がハワイで過ごした一週間は、ここに書ききれないほど多くの思い出や貴重な体験と

なりました。このような素晴らしい機会を用意して下さった先生方や添乗員さん、ハワイに温かく迎えてくれた現地の方々と、この研修のためにお金を出してくれた両親に感謝して、これからも英語の学習を頑張りたいと思います。

2年8組13番 S.M

この研修旅行で感じたこと。それはコミュニケーションの大切さです。たとえ英語が流暢でなくても、相手にどうにかして伝えることが大事だと思いました。

ハワイ大学での授業はもちろんですが、最もコミュニケーションの大切さを感じたのは、町にくりだした時や寮での生活で思わぬトラブルに見舞われた時でした。私の失敗談を交えながら、コミュニケーションの大切さについてお話したいと思います。2日目の夜のこと。寮の部屋は一人一人カードキーが必要な構造になっていたのですが、私は誤ってカードキーを部屋に残したままドアを閉めてしまいました。友達の助けもあり、翌朝無事に部屋に入ることが出来ましたが、先生方もいらっしゃらない中で寮のスタッフに事情を説明するにはコミュニケーション力が問われます。海外ではもじもじしていても伝えたいことは伝わりません。身振り手振りを交えてでも相手に現状を伝えること。これが必須なのではないかと思いました。次に、5日目のワイキキ散策のこと。道に迷いかけた私たちはホテルの場所を現地の方に聞いてみることにしました。その方は日本人の私たちにジェスチャーを使って丁寧に説明して下さいました。すると近くにいた日本語話者の方も補足をしてくださり、ハワイの方の優しさにも触れました。やはり勇気を持った積極的な行動が功を奏しました。

ハワイ研修では思わぬアクシデントに見舞われることもありましたが、日本ではできない経験をすることができました。ハワイ大学の先生や生徒の皆さん、美しい景色、ハワイアンフード。すべてがかけがえのない思い出です。もっと英語を勉強し、日本だけにとどまらないコミュニケーションの輪をつくっていきたいものです。

2年8組20番 T.R

僕にとってハワイで過ごした一週間は新しい発見に満ち溢れた有意義なものでした。日々、英語でコミュニケーションをとることの難しさに悩まされましたが、それでも相手の話の内容を理解しようとし、分かった時の感動は大きかったです。

ハワイには古くから守られてきた大自然があります。僕もその大自然に魅了されました。今回、ダイヤモンドヘッドを船の上から見る機会がありました。夕日に赤く照らされながらそこに居座っている姿は雄大で、何でも包み込んでしまうような包容力を感じました。この自然はハワイに住む人にとって切っても切れないものです。ハワイの人は日本で言う八百万の神のようなあらゆる所に神が宿っている考え方を持っています。それ故、日々の生活の中でも神々に感謝の気持ちを持っており、神々への敬意を込めて作られたのがフラダンスでした。僕はハワイ大学でフラダンスの授業に参加しました。そこでフラの先生にフラの動き一つ一つはハワイに住む人が釣りをしてる姿など生活で行われる動きを表しており、フラダンスはハワイの人にとって spirituality「魂」だと言われました。それ

ほど自然は人々にとって大切なものであり、」その心の奥深くに根を張っているということを知りました。

またハワイに来て驚いたのはハワイにいる日本人の多さです。明治に日本から多くの移民が移ったことから、今もなお多くの日系人が生活しています。ワイキキの街中には寺もあり、多くの日本文化が入ってきている印象を受けました。しかし、そこに日本の文化があることに違和感を感じるかと言われればそうではなく、ハワイの文化と調和を生み、その中に溶け込んでいました。

一週間という短い間でしたが、日本とハワイには多くのつながりがあることを知ることができました。このプログラムに参加できたことを大変うれしく思います。

2年8組24番 H.A

ハワイでの一週間で楽しいことばかりだけではなく、興味深くて貴重な経験をたくさんすることができました。

海外に行ったことのない私にとって一番の不安は英語が通じないことでした。ハワイ大学での研修は一日ずっと英語だと聞いていたのでついていけるかとても心配でした。英語に苦手意識を持っていたのですが、現地のお店でのショッピングやハワイ大学の生徒、高校生との交流を通して身振り手振りを交えながらも英語でコミュニケーションをとることができることを実感し、少し自信を持てるようになりました。それでもハワイ大学の学生の方との交流ではなかなかお互いの言っていることがわからなくて紙に図をかいたりIPADをつかったりして会話での言葉以外のツールの大切さがよくわかりました。その分通じ合ったときはとてもうれしかったです。

その交流では、ハワイのオススメのビーチやお店を教えていただいたりもしました。オススメのお店のチーズケーキはとてもおいしかったです。交流した大学生の中には祖父が日本人の移民だという方もいて日本とハワイのつながりを感じました。研修では戦前ハワイに移民としてやってきた日本人の話を聞かせていただく機会もあり、勉強になりました。いままで勉強としてとらえることが多かった英語を会話で使うことで英語に楽しみを感じ、これからもっと英語を使いこなせるようになりたいと思いました。

また、ハワイの自然はすばらしく、特に海は今まで見たことがないほど綺麗でした。船着き場の海までも透き通ったエメラルドグリーンで珊瑚があって魚がたくさん泳いでいてまるで水族館のようでした。ダイヤモンドヘッドから見た絶景は忘れることができません。ワイキキのビーチでフラダンスをおどったのも楽しかったです。

ハワイで出会った人たちは、お店の人や大学の先生、学生の人たちなどたくさんの人たちがフレンドリーで温かい人柄で、ハワイの気候のようにゆったりとした気持ちになりました。ハワイが日本に人気の場所なのもわかります。またいつかハワイにもう一度行きたいです。この研修に参加できて本当によかったです。ありがとうございました。

2年8組26番 H.R

ハワイで過ごしたこの10日間は私にとってとても有意義なものとなりました。

海外といえば、やはり食事が気になる場所ですが、日本と似ていて、わりと美味しかったです。しかし、とても量が多かったです。バスで移動して、着いては食べ、食べては移動、着いては食べ……。コース料理では、一品やっと思えば、すぐ片付けられ、次の料理が出され、本当に「ガリタ食堂」のようで、これからどうなるのかと不安にもなりました。とりあえず色々なものを食べることができて幸せでした。

研修中、自由時間を割と多く取ってくださりました。夕飯を好きなところで食べても良かったときは、パンケーキを食べに行きました。しかし、場所が分からなくて、聞きまくり、あと 45 分で帰らないといけなくらいでようやく見つけました。半泣き状態で、大急ぎで食べました。帰り道も猛ダッシュで、焦るし暑いし暗いし怖いし、途中の入り口は閉められているし、なんだか笑えてきたところで偶然 K 先生に出会いました。私たちの表情とは対照的に先生は私たちに優しく微笑んでいて、その時の心の安らぎは今でも鮮明に覚えています。とりあえず時間内に帰れてよかったです。

3 日目、ダイヤモンドヘッドに登りました。頂上で絶景に見とれていると、いつの間にか皆いなくなっていて、友達と 2 人で頂上から全力疾走で山を走り抜けました。途中でハワイの他の子達が歩いていましたが、通り過ぎ、ひたすら走りました。3 分ぐらいで帰りました。暑すぎて、そこで売ってあったレインボーかき氷を買いました。ですが買った瞬間、もうバスに乗ると言われ、アメリカのバスは飲食運転に厳しいらしく、ものすごい勢いでかき氷を食べました。焦りで頭は真っ白、顔は真っ青、舌は真っ赤で、楽しかったです。

オートロック制の寮に 2 日間泊まったのですが、そこで私は鍵を部屋の中に入れてまま扉を閉めてしまいました。友達が前日に同じことをした時に笑っていた自分を叱りました。その子は廊下で寝たと聞いていたのですが、それは嫌だと思い動き回っていると"何かあれば電話して"と書いた貼紙を見つけ、ロビーの電話を借りようと思いました。しかし、電話の線が抜かれていました。私も廊下で寝る覚悟をしました。ちょうどその時、ロビーに英語で楽しく寸劇をしている集団がいました。中国人かと思いつつしていたのですが、なんと日本人で、電話を貸してくださりました。電話で状況を説明したらスタッフが来て部屋を開けてくださったのですが、部屋が開いた感動よりもまず、こんな優しくて英語のできる集団がいることに感動しました。英語であんなふうに楽しく喋れることに憧れたし、もっと私も努力しようと思いました。いろんなことがあったけど、高校生のこの時期に皆と行った研修は本当に楽しかったです。